

## (1)新左翼一フートの歴史年表……前史1945~1957

## ● 1945年

- 3月26日~6月23日「沖縄戦」
- 8月6日広島市—原爆投下
- 8月9日長崎市—原爆投下
- 8月14日ポツダム宣言受諾
- 8月×日民主主義青年会議—結成(機関紙「民主主義青年」)
- 8月30日連合国総司令部(GHQ)—日本占領開始
- 9月14日日本帝国主義「降伏文書」調印
- 10月4日GHQ「人権指令」—政治犯約2500人釈放
- 10月10日「人民に訴う」(徳田球一・志賀義雄等)
- 10月20日「赤旗(セツキ)」再刊第1号(日本共産党)
- 11月2日日本社会党—結成大会(書記長—片山 哲・機関紙「日本社会新聞」)
- 11月8~10日日本共産党第一回全国協議会(行動綱領・規約草案)
- 12月1~3日日本共産党第四回大会(再建大会「行動綱領」・書記長—徳田球一)
- 12月22日(労働組合法公布)

## ● 1946年

- 1月4日第1次公職追放
- 1月26日野坂参三婦国歓迎国民集会(「民主人民戦線」提唱)
- 2月24~26日日本共産党第5回大会(「行動綱領」決定—平和革命路線)
- 3月5日日本青年共産同盟(青共)第一回全国大会—結成(機関紙「青年ノ旗」→「青年の旗」)
- 4月3日民主人民連盟準備大会(山川 均)
- 5月1日第17回メーデー(全国100万人・11年ぶりに復活)
- 5月19日飯米獲得人民大会(25万人・食糧メーデー・皇居前広場)
- 6月2日社会主義学生同盟—結成(早大・社会党系?)
- 6月12日学生自治委員会連絡会議第一回準備会(早大)
- 7月21日民主人民連盟—結成大会(~47年5月機関誌『民主戦線』)
- 8月1日日本労働組合総同盟(総同盟)—結成(会長—松岡駒吉・機関紙「総同盟」~86万人)
- 8月18日(国際学生連盟(国際学連・IUS)—結成大会(プラハ))
- 8月19日全日本産業別労働組合会議(産別会議)—結成  
(委員長—聴濤克巳・機関紙「労働戦線」~156万人)
- 10月×日10月闘争開始—全炭九州・東芝スト等—(産別会議)
- 10月10日全国学生自治会連合(全国自治連)—発足(私学系・学生自治委員会連絡会議の改組)
- 10月23日第一次読売新聞社争議—闘争委員会(委員長—鈴木東民)
- 11月×日大阪商大新聞—創刊号

## ● 1947年

- 1月15日全国労働組合共同闘争委員会(全闘)—結成(産別会議・総同盟・全官公庁共闘等)
- 2月1日2・1ゼネスト(ゼネラル・ストライキ)中止(全闘委員長—井伊弥四郎NHKラジオで中止声明)
- 3月10日全国労働運動連絡協議会(全労連・機関紙「労働新聞」)—結成  
(産別会議117万、総同盟111万、日労会議21万、国鉄労組総連会53万等)
- 4月7日(労働基準法—公布)
- 5月×日『理論』創刊—(理論社~29号1954・武谷三男・田中吉六・三浦つとむ)
- 5月3日(日本国憲法—施行)
- 6月1日片山 哲日本社会党首相内閣成立
- 11月19~22日全国国立大学学生自治会連盟(国学連)—結成
- 12月21~24日日本共産党第6回大会

## ● 1948年

- 2月14日「産別民主化同盟声明」~産別会議民主化同盟—結成(機関紙「民主化同盟」)
- 4月×日国鉄労働組合革新同志会(革同)—結成
- 6月1日教育復興学生決起大会(関東自治連+国学連—2万人・日比谷公園)

- 6月15～16日全国官公立大学高専学生自治会連盟(全官公自治連)—結成
- 8月27日民主主義擁護同盟準備会—結成
- 9月18～20日全日本学生自治会総連合(全学連)結成大会(委員長—武井昭夫・機関紙「学生新聞」)
- 9月26日民主主義擁護学生同盟—結成
- 11月14日民主主義学生同盟(民学同)—全国結成大会(機関紙「学生戦線」)  
「委員長中森蒔人、副委員長網野善彦、事務局長大沼鉄郎、教育宣伝部長西沢舜一、文化部長荒川幾男、組織部長網野善彦、機関紙部長中村正光、財政部長北田芳治」
- 12月2日労働者農民党—結成(主席—黒田寿男～日本社会党除名者)

## ● 1949年

- 1月×日「戦争と平和に関する日本の科学者の声明」(平和問題談話会第一回声明・清水幾太郎)
- 2月4～6日全学連第一回臨時全国大会(大学法・私学法・学園弾圧反対闘争)
- 4月×日「大阪市大新聞」創刊号
- 5月28～30日全学連第二回全国大会(IUS加盟決議)
- 6月18日日本共産党第15回拡大中央委員会(徳田球一「9月革命説」主張)
- 6月×日関西学生新聞連盟—再建(大阪市大・関西大学・立命館大学・同志社大学・第三高等学校・奈良女高師・大阪府女専—岡田義雄委員長(大阪市大))
- 7月2日民主主義擁護同盟—結成大会(機関紙「民主戦線」)
- 7月5日「下山事件」
- 7月15日「三鷹事件」
- 7月×日独立青年同盟—結成(社会党右派系)
- 8月17日「松川事件」
- 9月22・23日全日本学生新聞連盟(全学新)—結成
- 10月×日大阪市大第1回全学学生大会
- 11月2～3日全学連第三回全国大会(教育防衛闘争方針)
- 12月10日全国産業別労働組合連合(新産別・機関紙「新産別」)—結成(産別民主化同盟の継承)

## ● 1950年

- 1月6日「日本の情勢について」—コミンフォルム『恒久平和と人民民主主義のために』
- 1月12日日本共産党中央委員会政治局「『日本の情勢について』の所感」
- 1月16～19日日本社会党第五回大会(「独立青年同盟」問題で左右分裂)
- 1月18～20日日本共産党第一八回拡大中央委員会(コミンフォルム論評受け入れ決定)
- 2月6日「私の自己批判」(野坂参三「アカハタ」)
- 3月×日『最近の学生運動 全学連意見書』
- 3月22日「民族の独立のために全人民諸君に訴う」(日本共産党中央委員会)
- 3月27日「日本反戦学生同盟」—結成(九州大学—守田典彦)
- 4月21～23日日本青年祖国戦線—結成(臨時中央指導部系・機関紙「祖国と学問のために」)
- 4月26日日本共産党第一九回中央委員会総会(分派主義者の粉碎決定)
- 5月1日日本反戦学生同盟東京大学支部—結成
- 5月18日「来るべき革命における日本共産党の基本的な任務について(草案)」(徳田球一)
- 5月20～23日全学連第四回臨時全国大会(反帝平和路線を信任)
- 6月7日日本共産党臨時超指導部—形成(議長—椎野悦朗)
- 6月10日日本反戦学生同盟東京教育大学支部—結成
- 7月11・12日日本労働組合総評議会(総評)—結成大会(機関紙「総評新聞」)
- 7月24日レッドページ開始
- 8月10日警察予備隊令発布
- 8月31日日本共産党全国統一委員会—結成(国際派・機関紙「統一情報」)  
日本共産党国際主義者団(野田弥三郎・機関紙「火花」)  
日本共産党……(団結派・中西 功・機関紙「団結」)
- 9月1日公務員のレッドページ閣議決定
- 9月3・4日日本社会党第六回臨時大会(左右の統一)
- 10月7日「共産主義者と愛国者の新しい任務—力には力を以って闘え！」  
(野坂参三・機関紙『平和と独立のために』)

- 10月22日全日本学生新聞連盟(全学新)第一回関西支部総会(大阪市大)
- 11月10日日本反戦学生同盟関西地方委員会—結成大会
- 11月27日日本反戦学生同盟東京都委員会—結成大会
- 12月20日日本反戦学生同盟九州地方委員会—結成
- 12月×日日本共産党全国会議—結成(機関誌『理論戦線』『解放戦線』～国際派)

## ● 1951年

- 1月17日日本反戦学生同盟関西地方委員会—第1回大会
- 1月19～24日日本社会党第七回大会—(委員長—鈴木茂三郎「青年よ、銃をとるな！」)  
「平和四原則」—全面講和・中立堅持・軍事基地反対・再軍備反対—決定
- 2月23～27日日本共産党第四回全国協議会(臨時中央指導部)  
(「軍事方針」「分派主義にたいする戦いに関する」決定)
- 3月10～13日日本労働組合総評議会(総評)第二回大会—(事務局長—高野 実・「平和四原則」決定 )
- 4月13日社会主義協会—結成(大内兵衛・山川 均・向坂逸郎・機関誌『社会主義』)
- 5月5日日本民主青年団(民青团)第一回全国大会(青共+民学同+全民青)  
(機関紙「民主青年」→「プロレタリアの若き戦士」→「若き戦士」→「民主青年新聞」)
- 5月23日国鉄機関車労働組合(機労)結成大会
- 6月15～17日日本反戦学生同盟第一回全国協議会(AG)—全国準備委員会(全国委員会)設置  
(全国常任委員会委員長—山中 明(富田善朗)・機関紙「反戦旗」)
- 6月19日労働基準法規改悪反対闘争委員会(労闘)—結成
- 8月29～30日日本反戦学生同盟全国準備委員会第二回全体会議(単独講和反対闘争方針)
- 9月8日(サンフランシスコ講和条約調印—52年4月28日発効—「沖縄」等除外)
- 10月16・17日日本共産党第五回全国協議会「日本共産党の当面の要求—新しい綱領」(51年綱領)
- 10月23・24日日本社会党第八回臨時大会(講和条約の賛否で左右の分裂)
- 11月8日「われわれは武装の準備と行動を開始しなければならない」(『球根栽培法』)
- 12月15～17日日本反戦学生同盟第三回全国準備委員会総会(民青团、反戦学同解体提案)

## ● 1952年

- 1月21日「白鳥事件」
- 1月20・21日(右派)日本社会党第九回大会
- 1月28～30日(左派)日本社会党第九回大会
- 2月1日「中核自衛隊の組織と戦術」(『球根栽培法』)
- 2月19日「青梅事件」
- 2月20日「ポポロ座事件」
- 3月7日弾圧法規粉碎決起中央大会(総評・労闘—東京10万人)
- 3月28日(破壊活動防止法案—閣議決定)
- 3月29日「小河内村山村工作隊事件」
- 4月12日破防法粉碎第一波ストライキ(総評・労闘—230万人)
- 4月18日破防法粉碎第二波ストライキ(335万人)
- 5月1日「血のメーデー事件」(皇居前広場＝人民広場)
- 5月12日悪法反対国民連絡会議—結成
- 6月7日破防法粉碎第三波ストライキ(325万人)
- 6月21・22日日本反戦学生同盟第四回拡大全国準備委員会  
(常任委の自己批判・辞任～新全国常任委員—再組織される)
- 6月24・25日「吹田事件」
- 6月25日「岩之坂交番所事件」「新宿駅事件」
- 6月26～28日全学連第五回全国大会(委員長—玉井 仁)  
(国際派中執27名の学生戦線からの追放・反戦学生同盟の解散決議)  
「人民警察隊」(日共京都府委員会)、立命館大学で反戦学同員へのテロ・リンチ・自己批判強要
- 7月7日「大須事件」
- 7月21日(破壊活動防止法—施行)
- 9月6～7日日本反戦学生同盟第一回拡大全国委員会(テロ・リンチ事件抗議)
- 9月21日内灘反基地闘争—開始

## ● 1953年

- 3月21-22日日本反戦学生同盟第二回拡大全国委員会
- 6月11~15日全学連第六回全国大会(委員長—阿部康時~「帰郷運動」提起)
- 6月13日内灘反基地闘争激化
- 6月23日日本反戦学生同盟第三回全国委員会
- 8月29-30日日本反戦学生同盟第三回拡大全国委員会(継続)
- 9月20—22日民青团第2回建団全国大会
- 9月21日「伊藤 律処分に關する声明」(「アカハタ」日本共産党中央委員会)
- 10月14日徳田球一(日本共産党書記長)—死去(中国)

## ● 1954年

- 1月21~23日(左派)日本社会党第一二回大会—「左社綱領」決定
- 3月14-15日日本反戦学生同盟第四回全国委員会
- 4月2-3日民青团第3回躍進全国大会
- 4月22-23日全日本労働組合会議(全労会議)—結成(総評の分裂)
- 6月13~17日全学連第七回全国大会(委員長—松本登久男~「生活と平和のために」)
- 9月×日『オールドボルシェヴィキ』NO1~(イスクラ協会・対馬忠行)
- 11月12~14日全日本医学生連合(医学連)—結成大会(委員長—遠藤幸孝)
- 11月27-28日日本反戦学生同盟第五回全国委員会

## ● 1955年

- 1月1日「党の統一とすべての民主勢力との団結」(「アカハタ」—一方針)
- 4月1~2日日本反戦学生同盟第六回全国委員会
- 5月4—6日民青团第4回全国大会
- 5月7日(右派)日本社会党中央執行委員会—「右派綱領」決定
- 6月10~14日全学連第八回全国大会(委員長—田中雄三・日常要求重視の路線)
- 6月18-19日全国夜間学生自治会総連合(夜学連)全国大会(組織活動方針採択)
- 7月26~29日日本労働組合総評議会(総評)第六回大会(事務局長—岩井 章)
- 7月27~29日日本共産党第六回全国協議会(六全協)—徳田球一の死去報告、伊藤律の除名  
第一書記・野坂参三、書記・紺野与次郎、志田重男、宮本顕治
- 8月6~8日原水爆禁止第一回世界大会(広島アピール)
- 9月2~4日全学連第七回中央委員会(「七中委イズム・八大会路線」の確立)
- 9月13日第一次砂川基地強制測量反対闘争—開始
- 9月19日原水爆禁止日本協議会(原水協)—結成
- 10月13日日本社会党(統一)大会—委員長—鈴木茂三郎、書記長—浅沼稻次郎
- 10月14日日本共産党「徳田球一同志永垂不朽」追悼集会
- 11月15日自由民主党(自民党)—結成大会(総裁—鳩山一郎、幹事長—岸 信介~自由党と日本民主党の合同)
- 12月17-18日日本反戦学生同盟第七回拡大全国委員会

## ● 1956年

- 1月×日志田重男(日本共産党書記)—失踪
- 1月×日『日本反戦学生同盟の歴史的任務と今後の課題』(反戦学生同盟東京都委員会)
- 2月14~25日(ソ連共産党第二〇回大会—フルシチョフ報告~平和共存路線・スターリン批判)
- 2月26日「日本学生同盟」結成予定(門松暁鐘・中村光男→反戦学同に合流)
- 3月×日『叛逆者』創刊号(~8号・内田英生・富雄...群馬政治経済研究会)
- 3月25日『世界政治資料』創刊(日本共産党中央委員会)
- 4月×日日本社会党青年部第三回臨時大会(副部長—高見圭司)
- 4月4~6日全学連第八回中央委員会(原水爆実験・小選挙区制・教育三法反对方針決定)
- 6月9~12日全学連第九回全国大会(「七中委・八大会路線」の否決~「八中委・九大会路線」決定)  
(委員長—香山健一、副委員長—星宮煥生、書記長—高野秀夫)
- 6月14-15日日本反戦学生同盟第八回拡大全国委員会
- 6月20日『日本の学生運動-その理論と歴史』(門松暁鐘、中村光男、伴野文夫)—刊行
- 9月8日全国中立労働組合連絡会議(中立労連)—結成(機関紙「中立労連」)



- 10月13日砂川基地拡張測量阻止闘争(「流血の砂川」)
- 11月10日日本共産党東大学生細胞機関誌『マルクス・レーニン主義』一創刊
- 11月23~25日日本反戦学生同盟(反戦学同・AG)第一回全国大会  
(委員長—中村光男、副委員長—鈴木迪也、書記長—鈴木啓一・機関誌『反戦旗情報』)
- 11月23~25日日本民主青年団第五回全国大会(「日本民主青年同盟」に改称)
- 12月15日『マルクス・レーニン主義』第2号(日共東大学生細胞)
- 1957年
- 1月15日『反逆者』第9号(「反逆者編集部宣言」・日本トロツキスト連盟)
- 1月27日日本トロツキスト連盟—結成・機関紙「反逆者」第9号~16号・内田英生・富雄、  
太田 竜(栗原登一)、黒田寛一・3月—西 京司(大屋史朗)、岡谷 進(鶴嶋雪嶺)加入
- 1月×日『反戦旗情報』復刊1号
- 2月×日弁証法研究会(革命的マルクス主義者グループ・RMG-黒田寛一)—結成
- 2月16日労働者農民党—解党(各人、日本社会党に入党)
- 3月25日(自由民主党・岸 信介内閣—成立)
- 3月30-31日日本反戦学生同盟第九回全国委員会
- 4月×日日本トロツキスト連盟第1回全国代表者会議—「行動綱領」決定
- 4月×日『マルクス・レーニン主義』第4号
- 4月28日日本トロツキスト連盟第3回全国代表者会議
- 5月3~5日医学連第四回大会(委員長—池澤康郎、書記長—石井保男)
- 5月17日原子力戦争準備反対全日本学生総決起行動デー(全国170校・35万人)
- 5月20日「第四インターナショナル」第17号(「反逆者」改題)~37号—日本トロツキスト連盟
- 5月31日日本反戦学生同盟第二回全国大会(委員長—中村光男、副委員長—鈴木迪夫、書記長—鈴木啓一)
- 5月×日『マルクス・レーニン主義』第5号
- 6月3~6日全学連第十回全国大会(委員長—香山健一、副委員長—小島 弘・書記長—小野寺正臣)
- 6月15-16日夜学連第五回全国大会(原水爆実験即時中止・反動文教政策反対決議)
- 7月9日砂川基地突入闘争(米軍憲兵と衝突—「砂川事件」)
- 7月×日『マルクス・レーニン主義』第6号
- 7月×日京都府学連大会(委員長—佐野茂樹)
- 7月21日日本トロツキスト連盟第4回全国代表者会議
- 8月30-31日日本反戦学生同盟第十回全国委員会
- 9月10日日本トロツキスト連盟第5回全国代表者会議
- 9月×日『マルクス・レーニン主義』第7号
- 9月×日『マルクス・レーニン主義』第7号別冊
- 9月17日原子戦争準備反対・原水爆実験禁止協定即時無条件締結要求全日本学生総決起デー(7万人)
- 9月27日『探求』(弁証法研究会)創刊号~8号・別冊~60年2月)
- 10月×日『マルクス・レーニン主義』第8号
- 11月×日『反戦旗情報』復刊第1号(~4号・日本反戦学生同盟全国執行委員会教宣部)発行
- 11月1日原水爆実験禁止国際統一行動デー(全国百都市80万人参加)
- 11月23-24日日本反戦学同第三回全国大会
- 12月1日日本革命的共産主義者同盟—(日本トロツキスト連盟改称)・  
機関紙「世界革命」(「第四インターナショナル」改題第38号~
- 12月10日『反戦旗情報』復刊第2号
- 12月×日沢村義雄(大屋史朗)「レーニン主義の綱領のために」  
1958年1月12日『日本共産党京都府党報』